

Ableton友の会

ビートに命を メロディに魂を吹き込む

フォローアクション
早分かり

マーカー使いの
達人になる

構成を作る
過去にない展開

心に響く永遠へ

川三



概要

- pinさんの質問
- クリップの組み合わせでシーンを作る復習
- フォローアクションとは
- フォローアクションをどう使う？
- フォローアクションのパラメータ
- フォローアクションをどう使う 応用編
- ダミークリップとは
- ダミークリップ実用例
- ダミークリップの考え方
- MAP8を使用する場合
- お知らせ・ご相談

あと、やっぱりどうせならセッションビューを使いこなせるようになってみたいですね。ここまできたらabletonのワークフローにどっぷり浸かってみたいです。

2024年2月2日 午前1:09



そう、なんと言うか、私もpinさんもやりたくないことをしなくて良いためにお金を稼ぐタイプだと思うんですけど。笑

2024年2月2日 午前1:11

でも、したいことのために働くのって、ちょっと良いですね。それが音楽で自分で完成するものならなお良いじゃないですか。経営だと、自分でコントロール出来ないこと多過ぎますけど、音楽はできますしね。笑



セッションビューはまた、研究会でやりましょう。笑友の会はお題もらってライブ配信でやっても良いかなと思ってます。

2024年2月2日 午前1:13

そうですね、、、
いかに今やってることをやらなくていいようにできるかに思考を割いてる実感はめちゃくちゃありますね笑
そして音楽だけは自分の作りたいことを作りたいというのは確かにあるかもしれないです。
人生や経営は作りたくても自分ではコントロールできない部分が多すぎるので笑

本当に好きなことくらいは好きなようにやりたいですよね。

クリップの組み合わせでシーンを作ろう

- シーンはイントロなど音楽的なセクションの単位
- Abletonは盛り上がりを作ってから再構成していくのは得意
- いい組み合わせが出来たら「シーンの取り込みと挿入」でひとかたまりにしよう
 - 作成→「シーンの取込みと挿入」Cmd+shift+I
- 「シーンの挿入」との違い
 - シーンの挿入は空のシーンを作るもの

シーンを作る時に考えよう

- シーンのイメージを持って手法を考える
 - 例
 - イントロはドラムだけ
 - 音量が上がっていく感じにしたい
- セッションビューで出来ることか、アレンジメントビューで出来ることか？
 - 手間を考える
 - 複数トラックにオートメーションを掛けたい
 - ケース・バイ・ケース
 - M4Lなら出来る場合もある
 - クリップの長さが別々だったら？
 - 2小節のループを4小節かけてフェードイン
 - エンベロープのリンクを解除すれば出来る
 - 時間軸で複数のトラックとの関係性を見たい場合はアレンジメントのほうが便利
- ライブパフォーマンスの場合はいかにセッションビューで出来るようにするか

シーンを作る時に考えよう 2

- リアルタイムでエフェクトを掛ける場合
- 1トラックなら難しくない
 - マウス、純正ならPUSHでアサインされる
 - 外部コントローラーならMIDIマップモードスイッチを押す
- 複数のトラック同時にコントロールしたい場合
 - MIDIコントローラーなどでマッピングする
 - PUSHでは複数のトラックをコントロールできない
 - M4Lがあれば可能
 - Map8

フォローアクションとは

- セッションビューでしか使えない
- クリップ・シーンの再生を制御する
- 確率でどの再生方法を選択するか制御している
- ライブパフォーマンスで使うことが多いがそれだけではない
- クリップのフォローアクションは同一トラック内のクリップに適用される
- **フォローアクションさせたいクリップは隣接する必要がある**
 - 複数クリップを選択して、フォローアクションをオンにする必要がある
- 正確なタイミングでシーンやクリップを切り替えられる
- chanceとの違い
 - MIDIノートの発音確率

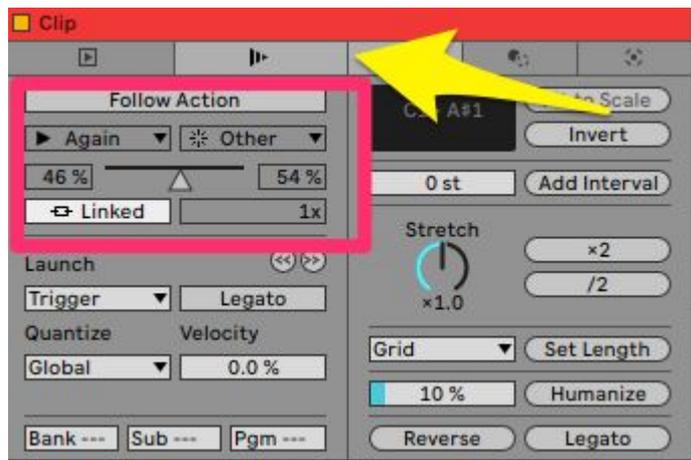
フォローアクションをどう使う？

- ライブパフォーマンスでの活用例 ドラムの場合
 - 4小節目にドラムのフィルが来て欲しい
 - 毎回同じフィルは嫌だ
 - フォローアクションを使えば可能
 - 例
 - 3小節の基本パターン
 - 3小節演奏したらランダムでなにかのフィルを演奏する
 - フィル4種類 1小節
 - 小節演奏したら基本パターンに戻る

フォローアクションをどう使う？2

- ライブパフォーマンスでの活用例 自動化
 - エンディング、イントロなどの自動化
 - 一人でオペレートするのが難しい場合
 - 他は手動でやりたい
 - エンディングは構成が決まっている
 - 3回繰り返したらエンディングなど

フォローアクションのパラメータ



- 黄色矢印で設定画面
- Follow Actionをオンで有効
- Shift+Enter
- 下の2つは再生の挙動
- LinkedはCLIPの長さで挙動を決定
- 1*は再生回数後にフォローアクションの意

フォローアクションのパラメーター



- %は発生確率 スライダーで調整
- 上のAgain,Otherなどが挙動
- Unlikedになると、小節数などで設定可能

フォローアクションのパラメータ



- No Action フォローアクションをしない。
 - 最初にこれで再生されるとフォローアクションされないので、 Play Againがデフォルト
- Stop 停止
- Play again クリップの再生を再開
- Previous 前(上のクリップ)を再生
- Next 次(下のクリップ)を再生
- First 一番上のクリップを再生
- Last 一番下のクリップを再生
- Any 今再生しているクリップをふくむどれかを再生
- Other 今再生している以外のクリップを再生
- Jump 任意のクリップを再生
 - 番号は上から1,2となっていることに注意

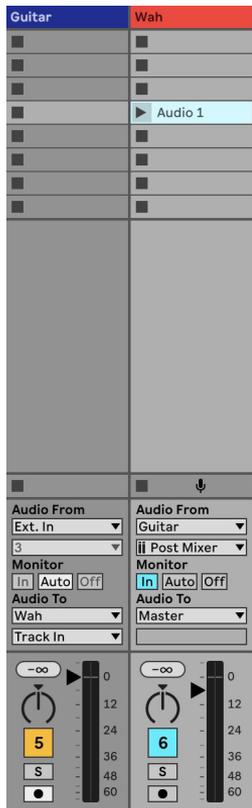
フォローアクションをどう使う 応用編

- 全体のフェードイン、フェードアウトを自動化したい
 - マスターにクリップを置くことはできない
 - 通常のフォローアクションで行う場合、それぞれのパートにオートメーションを書く必要がある
ので煩雑
 - 演奏しながらだと手が塞がると厳しい
 - 複数トラックを同時に操作するのは難しいし、マスターボリュームだけでも片手が塞がる
- ギターを生演奏しているとき、このパートだけエフェクトが掛かって欲しい
 - Ableton上でエフェクトを掛けている場合は、オン、オフ、パラメーターの設定を行う必要がある。
- **ダミークリップがあれば解決できる**

ダミークリップとは

- 内容が入っていないオーディオクリップに別のトラックの音を流し込みエンベロープを記録することで、自動化するためのもの
- エフェクト、オン・オフの自動化
- エフェクトのパラメーターの変化
- M4Lを持っている人はMap8を使えばMIDIクリップでも可能。ルーティングが複雑でなくなるメリットがある。
 - デメリットとしては、Suite以外不可能な点

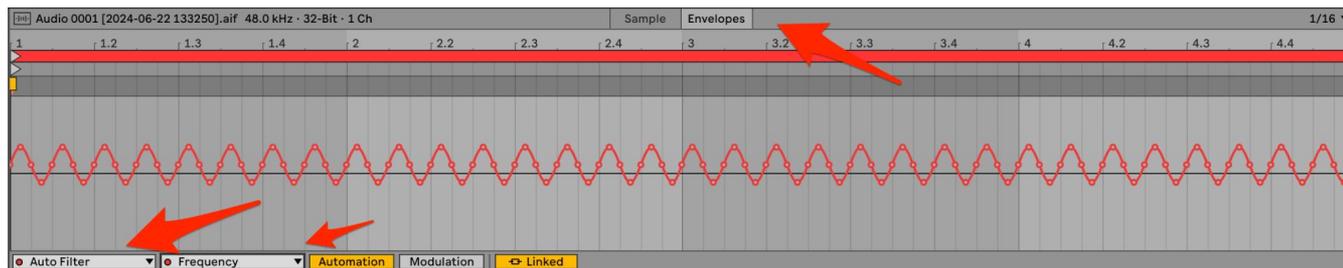
ダミークリップの設定 エフェクトをオートメーション



- その場でアドリブするが、エフェクトは掛かって欲しい
- エフェクトのかかり方は決まっているとする(今回はAutofilterを使用)
- ダミークリップ用のトラックを作る(この例ではWah)
- ダミークリップ用の無音のクリップを作る
- Audio Audio Fromを～に設定
- 元のトラック(この例ではGuitar)のAudio ToをWahに設定
- Guitarの信号はWahのトラックに流れることになる

ダミークリップの設定 エフェクトのオートメーション

- ダミークリップを置くトラックにAutofilterを立ち上げる
- Autofilterの立ち上げたいパラメーターを触る
- ClipのEnvelopesを選択
- コントロールしておきたいパラメーターになっていることを確認
- オートメーションを入力



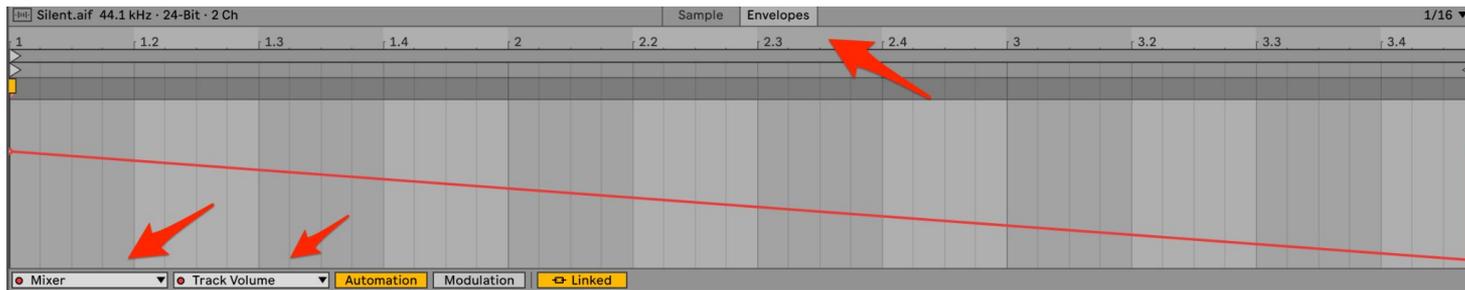
ダミークリップの設定 フェードアウト

The screenshot shows a DAW mixer with four tracks: Master, Drums, BASS, and E.Piano. The Master track is highlighted in red, Drums in red, BASS in yellow, and E.Piano in green. Below the tracks, the MIDI and Audio routing for each track is visible. The Master track's MIDI is set to 'All Ins' and 'All Channels', and its Audio is set to 'Dummy'. The Drums, BASS, and E.Piano tracks have their MIDI set to 'All Ins' and 'All Channels', and their Audio is set to 'Master'. The volume faders for the Master, Drums, BASS, and E.Piano tracks are all set to 0, and the Master track's fader is labeled '1', '2', '3', and '4' in yellow boxes. The Master track's fader is also labeled 'S' in a white box.

- 全てのトラックのボリュームを自動化したい
- マスターにクリップは置けないためどうするか
- 全てのトラックをまとめて、それをダミークリップで制御すれば可能
- ダミートラック以外のトラックをグループ化する(今回はMasterと命名)
- ダミートラックを作成する(今回はDummyと命名)
- Dummyトラックに無音のクリップを作成
- まとめたトラック(Master)からAudio toでDummyに送る

ダミークリップの設定 フェードアウト

- Dummyトラックのミキサーのボリュームを触れる
- クリップでエンベロープを選択
- Mixer、Trackボリュームになっていることを確認
- オートメーションの記録を描く



ダミークリップの考え方

- 単一のトラックの場合かどうか
- 複数トラックならグループ化する
- 複数トラックでも上モノ、ドラム、ベースなど分けたい場合は都度グループ化する

MAP8を使った場合

- ルーティングは考える必要がない
- MAP8は他のトラックのパラメータをコントロールできる
- 空のクリップを作り、コントロールしたいパラメーターをマッピングする

お知らせ・ご相談

- 次回 サンプルング編
 - 手法の紹介や問題点
 - 手法
 - ベース
 - 音楽の構造の理解が必要なのでは？
 - ピッチ、キーの概念
- 前回からのDiscordの話題
 - オフ会延期になりました
 - また詳細決まったら連絡します。
 - ササキさんのサンプルパック発売記念インタビューをやりました
 - 記事にします
- 土日に配信は出来ません。
 - ごめんなさい
 - 当面は動画でやります。

お知らせ・ご相談

- おすすめプラグイン
 - T-Racks One
 - Blue Toneと組み合わせると好みのベースが作れる。簡単です ...
 - Final loud
 - プラグインマエストロ MIDIBOYさんの紹介
 - Truepeak維持しながら目標のラウドネスに持っていける 魔法か。
 - Model84
- おすすめM4L
 - VU Meter 各トラック毎の適正ゲインを確認できる
 - 昔のアナログミキサーは1トラックごとに VUがあったことを模せる
 - M2TM Chords
 - M2TM Progressions

お知らせ・ご相談

- 電子書籍進んでます
 - 打ち込みの場合、サンプルだけで作る場合、演奏して作る場合
 - 1章ごとにスキルが身につく
- Note, 投げ銭はじめました
 - noteに振り返りを置くことにしました。収益部分だけ有料
 - Adsenseが壊滅なので、投げ銭を置いておきました。
- ベース系動画増やします
 - サンプリング編でベースを十分にやるのは難しそう。
 - 外れている感覚がない人は、コードの知識や最低限のベースラインの作り方を知っていればできるかもしれない。
 - 実例ありでやってみるかも
- 残暑が厳しいので、体調に気をつけて